

平成24年度教職大学院派遣研修研究報告書

|               |                   |     |           |
|---------------|-------------------|-----|-----------|
| 研修生番号         | 管24K04            | 氏名  | 植木 聡子     |
| 研究主題<br>—副主題— | 「道徳的判断力を育てる授業の工夫」 |     |           |
| 所属校           | 世田谷区立桜丘小学校        | 派遣先 | 玉川大学教職大学院 |

| 項目       | 内容  |
|----------|---|
| I 研究の目的  | <p>東京都教育委員会では、教育課題の実践として心の教育の推進を行っており、以下のように述べている。</p> <p>心の教育推進として最初の項目に「善悪の判断力の育成及び社会規範の確立」が挙げられている。しかし、東京都教育委員会によると平成22年に行われた全国学力・学習状況調査の結果で「いじめはいけないことだと思う」に「当てはまる」と回答した東京都の小学校第6学年は全国よりも5.2ポイント低い70.5%だった（全国ワースト2位）。中学生で「当てはまる」と回答した生徒は58.6%で全国と比較すると4.7ポイント低い結果となった（全国ワースト3位）。10年後、20年後には東京都の発展を担い、次の世代の子どもたちを育てる中心的な存在となっていくのは現在の児童・生徒たちである。東京都では、この結果を非常に重く受け止め、子供たちの豊かな心の育成を目指し、学校が家庭や地域社会と連携して取り組む道徳教育を推進している。</p> <p>では、「善悪を判断する力」を身に付けるには学校ではどのような指導ができるのか。道徳の時間では、どのような指導ができるのか。</p> <p>道徳の時間は、道徳的実践力（道徳的心情、道徳的判断力、道徳的実践意欲と態度）を育成することが目標として定められ、この道徳的判断力こそが「善悪を判断する力」であると学習指導要領に記載されている。</p> <p>つまり、道徳の時間でこそ、この「善悪を判断する力」は身に付けられるのである。</p> |
| II 研究の方法 | <p>平成24年度抽出7社の道徳の副読本（東京都版）のめあてを比較すると、大部分が道徳的心情や道徳的実践意欲と態度にめあてが置かれており、道徳的判断力をめあてにした授業が少ないのが現状である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>道徳的判断力の定義付け <p>学習指導要領を基に、それぞれの場面において、善悪を判断する能力である。<br/>つまり、人間として生きるために道徳的価値が大切なことを理解すること。</p> </li> <li>先行研究と批判 <p>道徳的判断力を育てる先行研究でもあるコールバーグや荒木紀幸氏のモラルジレンマ型授業について文献研究を行った。同時に、このモラルジレンマ型授業批判を文献にて検証。</p> </li> <li>道徳的判断力を育てる授業の提案 <p>資料の工夫。ねらいの工夫。発問の工夫。</p> </li> <li>検証授業 <p>第5学年 資料「手品師」による検証授業</p> </li> </ol>  |

|                |   |
|----------------|---|
| <p>Ⅲ 研究の結果</p> | <p>小学校学習指導要領解説道徳編には、善悪を判断する力は道徳的判断力であるとされている。このことから、道徳の時間でこそ善悪を判断する力が育つとし、先行研究を通し理論を深めてきた。子供に道徳的価値を教え込んだり、子供たちが道徳的価値について自分の考えを表明するだけで終始したり、規則違反や窃盗など人としてやってはならないことを善いと判断した子供たちを受け入れたりする授業展開では道徳的価値を理解したとは言えない。</p> <p>道徳的判断力を育てるためには何が善いことで何が悪いことなのか、道徳的価値を理解することにより善悪の判断につながると仮説を立て検証授業を行った。</p> <p>検証授業では、資料「手品師」を用い小学校第5学年で行った。手品師が「夢を叶えるべきか」「男の子との約束を守るべきか」の二者択一式で考えを絞るのではなく、心の揺れや迷いなどの葛藤場面から道徳的問題点を考え、手品師にとっても、男の子にとっても善いとする代案を考え討論を行った。この授業過程を行うことで、最終的に、手品師は男の子との約束を守ったのは、簡単に考えて答えを出したわけでもなく、自己犠牲になったわけでもなく、手品師自身が子供たちと同様に深く考え出した結果であることに気付くことができた。そして、誠実に判断するときには、深く考え、相手にも自分にも正直な心で決断することが誠実な態度である道徳的価値理解へとつなげることができた。</p> |
| <p>Ⅳ 考察</p>    | <p>小学校学習指導要領解説道徳編では道徳的判断力は善悪を判断する能力としているが、「人間として生きるために道徳的価値が大切なことを理解し、様々な状況下において人間としてどのように対処することが望まれるかを判断する力」とも記されている。つまり、本研究では、様々な状況下を設定し、人間としてどのように対処するのか問題解決的指導までの研究を深めることができていない。</p> <p>次に、本研究を進めていくうちに、道徳的判断力を育てる指導を重視するだけでよいものかと疑問がわいてきた。これでは、道徳的実践力全体を考えた提案となっていない。検証授業において子供たちはねらいとした道徳的判断力を育つことができていた。しかし、同時に道徳的心情や道徳的実践意欲と態度についても触れながら道徳的価値について考えを深めていた。今後は、この道徳的実践力を吟味し、道徳の時間で道徳的心情と道徳的判断力、道徳的実践意欲と態度を育てるための関係性について更なる研究を進めていく。</p>   |